

# 北の道先案内人 とがし遊魚がいく!

# 鮎温泉食の旅

ヘラが良く釣れる  
淡水魚の宝庫!

当地秋田は6月から雨も少なく暑い日が続いていたが、8月に入り「台風5号」が通過してから「真夏日」はなくなり、朝夕はめっきりと涼しく、秋の気配を漂わせております。

今冬の降雪量も例年より極端に少なく、梅雨時の雨もほとんどなかったから、各湖沼畔のほとんどが減水中です。減水していると、やはり食いも悪く、釣り場の雰囲気も良くないですね。

ところが、今回紹介する「横手牛沼」は、常に流れ込みがあり、満水状態で水質も抜群です。今、秋田県ナンバーワンの釣り場と言っても過言でないでしょう。

4月からの日曜日は、2組から3

4組の例会が開催されており、賑わせております。

優勝圏内が10〜15kgで、オデコはまずない釣り場です。放流量はけっこう多いわけでもないが、ガリペラはまずいないのも不思議なくらいです。水質がよいのでしよう!! プラックバスもいると聞かされてますが、何がバスの天敵がいるのでしょうか、繁殖できないようです。ゆえに淡水魚の宝庫でもあります。藻工ビ・タナゴ・クチボソ・メダカ・マブナ・コイ・ザリガニ等々の数も凄い凄いです! 貴重な沼ですよな。

元気な横手ヘラを満喫!

今回取材のために、当店一番の若手イケメンのキムテル君を誘惑して「ゴエ沼」ということになった。たまたまイケメン君も、「行ったことのない釣り場なので」と言う

ことだから、ちよつとよかつた。人気釣り場だから平日でも10〜20人前後いるので、「名ポイントは無理か」と思いきや、到着(10時半頃)してビックリ! ナンバーワンポイントに3名しかおらず、ラッキーであります!

早速2人仲良く並んで、「今日は短竿(8尺)の宙釣り両ダンゴに決定!」ということになった。

チョット早めにエサ打ちした小生に、数投目にして3連打ゲット。ゆくりスタートしたイケメン君は1投目で、「ワイ釣れちゃったあ」と大喜び。それも泣尺の丸々した綺麗なヘラフナに「すげえ感動!」している。

ここの横手市は、盆地ゆえにムンムン蒸し蒸しして曇り空なのに汗汗! それぞれ小雨が落ちて来て、爽やかな風も吹いてきて、入れ喰いパターン

となった。「最高の釣りだなあ」なんて話していたら、急に真っ暗となり、「あれえ?」と思いきや、突然の集中豪雨に洗礼されて、見る見るや回りが水浸しとなり、大騒動! 数10分のうちにエサポールに半分の水量だもんね。

超ビックなヘラフナはおりませんが、水深があるのと水質が良いからか、魚達の元気の良いこと、引き味は抜群なのが魅力です。短竿・長竿まで、かつつけ釣り・浅ダンゴ・宙釣り・チョウチン釣り・ドボン釣りまで、幅広く楽しめる釣り場です。

魅力いっぱい横手市

この「牛沼」のある横手公園には高台には横手市を眺められる天守閣があり、春の「桜」から「つつじ」初夏の「バラ」に秋の「紅葉」まで四季折々の自然を満喫でき、その中

でヘラフナ釣りができるのだから。皆さん想像してください。野釣り場としては最高のロケーションでしょう。

作家の石坂洋次郎は、横手市で教員生活を送り、この山と川のある街を舞台に描いた「若い人」や「若い山脈」は有名な文学作品ですよな。今時の若者達にはチンパンカンパンかもね? 文学作品とかは読むのかなあ。

また横手市といえば「かまくら」が代名詞です。さらにこのすぐ近くには、温泉「簡保の湯」があります。宿泊・日帰りもできますよ。また、横手市から数10分車を走らせると、いろんな温泉があります。

食べ物には「横手焼きそば」が有名ですが、今回は「平鹿リンゴ」をお薦めします。また、小生はこの地のガリガリ桃も大好きです。



ここ石灯籠ポイントは、入座が簡単で釣りの足が不要ゆえか、常に釣り人がおり、数投もエサ打ちしたザワリがみられます。この日は先着3名様しかおらず「入ることが出来! ラッキー!」向かいの佃下ポイント(一人釣り人が見えますかな?)も例会・大会等では上位入賞確実な名ポイントで、どちらかと言えば長竿がよいでしょう。



駐車場から見える牛沼。緑の木立にひっそりとなにやらと雰囲気をかもすだすでしょう。



赤い橋ポイント。橋の両サイドが絶好のポイントこの橋を渡り、右に進めば環堤ポイントで、左に進むと桜並木ポイントだ。また、この上の山にはバラ園があり開花時にはたくさんの方が訪れます。



8寸前後がレギュラーサイズだが、ときおり尺ペラも釣れます。元気のいいのがこのクラスで、水深があるゆえ引きの強さは抜群です。



青森は津軽のリンゴも美味しいが、ここ平鹿地方の【リンゴ】は日本一美味しいかも! 今年は天候に恵まれており、このまま台風が上陸しない限り大豊作でしょう。今は薄いリンゴですが、秋には真っ赤な林檎ちゃんになりますよ。また、ここは栗栗の宝庫で、スイカ・桃・ブドウ・スモモが採れます。「桃子」という林檎のような桃が名物で、その品種の名前が「驚きの桃」と言い、僕はガリガリだがいこの桃が大好きで、この日もご購入しました。